

平成20年11月27日

(Fellowship Training)

(注1)

PSCに関するフェローシップトレーニングの実施について ～ 外国からPSC検査官が日本での現場訓練にやってきます。～

フェローシップトレーニングは、アジア太平洋地域におけるPSCの発展と調和を図る目的で、国土交通省海事局と東京MOU事務局が共同で実施する重要な事業のひとつです。平成12年に初めて実施され今年で9年目を迎えます。

本年度は、12月5日(金)から12月19日(金)の間、韓国、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ロシア、タイ、ベトナム、チリの9カ国から計10名のPSC検査官が来日し、**12月8日(月)から12月17日(水)までの8日間**、九州、関東、中部、近畿、神戸の**5カ所の運輸局等に各2名が派遣**されます。

九州運輸局(本局)では、韓国とタイの両国からそれぞれ1名のPSC検査官を受け入れ、現場訓練等を実施します。

この現場訓練では、東京MOU加盟国のPSC検査官を対象に、地方運輸局の外国船舶監督官の指導の下、現場(外国船舶)でのPSC業務を中心に訓練が実施され、座学やディスカッション等を通じてPSC上の疑問点の解消やPSC業務の標準化が図られています。

(注1)「PSC」(ポート・ステート・コントロール: Port State Control)

「PSC」とは、寄港国(例えば: 日本)に入港した外国籍船に対して、船舶の構造・設備及び海洋汚染防止機器並びに船員の資格要件等が国際条約に適合しているかどうかについて寄港国の外国船舶監督官が寄港国の国内法に基づいて行う船舶検査のことです。

(注2)「東京MOU」(エムオーユー: Memorandum of Understanding)

「東京MOU」とは、アジア・太平洋地域におけるPSCの実効性を確保するため、PSCの標準化、域内協力体制の強化を目的として、1993年12月に東京において覚書として採択されたものです。この覚書には、現在、次のアジア・太平洋地域の18の国・地域が参加しており、事務局は東京に置かれています。

<東京MOU加盟国・地域>

オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、ロシア、シンガポール、タイ、バヌアツ、ベトナム

<問い合わせ先>

九州運輸局 海上安全環境部 外国船舶監督官
(担当: 山下)

TEL: 092-472-3185

FAX: 092-472-3305